

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エガリテkids (放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供という点において、本事業所では「サッカーを軸とした運動療育」という独自性を活かし、年齢や発達段階に応じて、身体を動かす体験を通じた社会性や自己調整力の育ちを支援している。	サッカーを軸とした運動療育を通して、勝敗や対人場面で感情が揺れやすい児童に対しても、成功体験を積み重ねられるよう、対戦形式に偏らない課題設定を工夫している。また、身体を動かす中で自然にルール理解や順番を待つ経験が得られるよう、視覚的な説明や事前の見通し提示を行い、安心して活動に参加できる環境づくりを意識している。	今後は、児童一人ひとりの特性に応じた関わりがより安定して提供できるよう、療育に関する職員の学びを深め、支援の質の底上げを図るとともに、自己評価を通して支援内容を定期的に振り返り、改善につなげていく。
2	サッカー経験者や現役で競技に取り組む指導員が在籍していることにより、運動療育において専門性の高い支援が提供できている。指導員が身近なロールモデルとなることで、子どもたちの意欲や参加姿勢が高まり、活動への前向きな取り組みにつながっている点が、当事業所の強みである。	サッカー経験者や現役で競技に取り組む指導員が、技術指導だけでなく、声かけや関わり方を通して「挑戦する姿勢」「失敗しても立て直す姿」を子どもたちに示すことを意識している。	指導員間でサッカー療育における関わり方や成功事例を共有し、経験や専門性に依存しすぎない支援の質の均一化を図るとともに、子どもが「憧れ」を持つ気持ちを通じた目標設定や社会性の学びにつなげられるよう、研修や振り返りの機会を設け、より発達支援の視点を深めていく。
3	児童一人ひとりの情緒面の安定を大切にし、安心して自分を出せる関係性づくりを基盤とした支援を行っている。初めての活動や失敗場面においても、指導員が気持ちを受け止め、肯定的な声かけを行うことで、挑戦する意欲や「やってみよう」とする気持ちを育てている点が事業所の強みである。	児童の行動のみを評価するのではなく、その背景にある気持ちや特性に目を向け、言葉掛けや関わり方を調整している。また、できたことや努力の過程を具体的に言語化して伝えることで、自己肯定感の向上につながる関わり方を意識して行っている。	今後は、児童との関係性の中で得られた気づきを職員間で共有し、支援の視点や関りに一貫性を持たせることで、より安定した情緒支援につなげていく。また、保護者にも児童の良い変化や強みを丁寧に伝えることで、家庭場面での関わりにも安心感を広げていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サッカー療育を中心とした運動支援に強みがある一方で、保護者アンケートにおいて「SSTに重点を」「日々の生活改善につながる支援」を求める声があった。社会性や対人スキルに関する支援は行っているものの、SSTとして体系的・構造的に学ぶ機会が十分に整理・明示されていない点が課題として挙げられる。また、その支援の位置づけや内容が、保護者に十分伝わってきていない側面がある。	平日は活動時間の関係から、実際の場面を活かした即時的な関わりを中心に支援を行っている一方、土曜日等の休日利用では机上でのSSTを提供しているなど、利用曜日によって支援の形が異なっている。この違いについて事業所として整理した説明が十分でなかったことが要因と考えられる。	平日・休日それぞれにおけるSSTの支援方法やねらいを明確化し、活動中の都度対応がどのような学びにつながっているのかを言語化して保護者に共有する。また活動と日常生活をつなぐ視点を明確化し、家庭での実践につなげていく。
2	サッカー療育を中心とした運動活動を行っているため、転倒や接触による怪我のリスクが他の活動に比べて高くなる点が課題として挙げられる。	活動の特性上、走る・蹴る・方向転換など動きが大きく、また子ども同士の距離が近くなる場面が多いことから、注意していても予期せぬ接触や転倒が起こりやすいことが要因と考えられる。	活動前の準備運動やクールダウンを丁寧にを行うとともに、年齢や発達段階に応じたルール設定やコートでの区切り方工夫し、安全配慮を徹底する。また、指導員間でヒヤリ・ハット事例を共有し、事故防止の視点を常に更新していくことで、安全性の向上に努める。
3	保護者アンケートにおいて、非常時等の対応マニュアルの内容が十分に周知されていない点が課題として挙げられる。	マニュアルは整備されているものの、日常的な説明や訓練の機会が少なく、保護者への周知が不十分であったことが要因として考えられる。	非常時対応については、保護者向けの説明資料や計画的な訓練の実施を行い、安心感につなげていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 エガリテkids (放課後等デイサービス)

公表日 2025年 12月 25日

利用児童数 38

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1			・広々としたグラウンドに驚きました。 ・広いスペースでのびのびと活動できている と思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		2	・いつも沢山のスタッフの方で対応して 頂き、手厚いと感じました。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1			・トイレはきれいなのがいいです。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	1	1	・SSTに重点を	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1	1	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	1	1	・こちらが不安に思っていることや子どもの特性 をお話させて頂いたことを踏まえて下さった計 画と支援をして頂いています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1		3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28		1	1	・スポーツメイン、SST等日々の生活で の改善に繋がる支援を	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	1	1	・毎回違う活動内容で有り難いです。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	4	8	12	・まだ通いはじめたばかりのためその機 会はまだないのかなと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	4	6		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	26	4			・毎回活動の報告や子供の様子を伝えて頂 き、こちらからも家や学校での様子を伝える ことができているので有り難いです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	5			・面談の時に知らなかったことの情報や ご助言を丁寧に頂きました。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29		1		・子どもにいつも寄りそった支援をして 頂いていると感じています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	2	2	3	・もしかしらあるのかもしれませんが、まだ日 が浅いので活動の機会にあたってないのかもし れません。 ・親子サッカーイベントにより子どもの様子を 知ることができ、他者との関わり方を見る機会と なり、とても有難いです。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3		1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2		4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1		3	・不都合を感じたことはありません。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		11	・訓練については分かりません。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	1	19	・訓練については分かりません。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24			6	・こちらも機会がないだけかもしれません。 ・すぐに連絡を頂ける体制だと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1	1		・毎回、「今日は何をやるんだろう」と楽しみにしています。 ・とても楽しいみたいで平日のみの予定でしたが土曜日時間も長いし最高と言っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27		1		・通わせて頂いてから子供に良い変化が沢山ありました。 ・少人数で様々な運動を経験させてもらい、集団ルールも学べていると感じています。 ・サッカーの上達をもう少しメインにしてほしいです。上達が成功体験になる為。 ・先生方の声かけや友達との関わりがとてもいい刺激になっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		エガリテkids (放課後等デイサービス)				公表日	2025年 12月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・児発・放デイの多機能型のため、発達に応じてクラス分けを行っているため、少人数で使用することが多くスペースは適切である。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・10:2以上の体制を整えている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・当日の活動内容を、文字やイラストでボードに示し、視覚的に提示した対応を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・主にインフォーマルだが、vineland IIを参考にしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			・自由時間を設けることで、やりたいこと、好きなことが出来るよう設定している。(土)には「セレクト活動」として、スペースを含めて選択できるよう工夫されている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			・他事業所との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・保護者送迎が基本なので機会は少ないが、トワイライトお迎え時は情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				・該当者なし ・現在該当ケースなし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・名古屋市在住のお子さんはトワイライトスクールを、他市のお子さんは学童保育と併行利用されているお子さまが、当事業所をご利用されている。	当事業所をご利用されているお子さんは、地域の学校に通われている為、地域の他のこどもと活動する機会は学校生活をもって充足されている。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・守山区自立支援連絡協議会が主催する事業所紹介等を行うイベントに、多数の職員とともに参加している。	・自立支援協議会と役割について、職員間で学ぶ機会を設けていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・面談の際に行ったり、日常の会話の中で情報提供等は行っているが、ペアトレなど体系的な学びは実施していない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			